

## 令和7年度第1回川口市地域保健審議会会議録

- 1 開催日時 令和7年7月28日（月）午後1時30分～午後2時30分
- 2 開催場所 鳩ヶ谷庁舎 2階大会議室
- 3 出席者 **【委員】** 15人  
長江厚、倉田豊、金子裕子、永井晃、藤波康彰、鈴木剛、関美雪、茂野明也、宗像幸彦、渡邊謙、久保和見、請川かおり、富田守甫、増田泰子、大沼早苗  
**【事務局】** 17人  
小澤保健部長、岡本保健部理事兼保健所長、矢崎保健総務課長、妹尾管理課長、西尾疾病対策課長、堀江健康増進課長、諸橋地域保健センター長、大澤生活衛生課長、徳永食品衛生課長、近衛生検査課長、今井保健総務課課長補佐、菅井保健総務課課長補佐、森口管理課課長補佐、尾嶋疾病対策課課長補佐、仲田保健総務課主任、塩見保健総務課主任、中田保健総務課主事補
- 4 議題  
報告事項 1 川口市保健所の令和6年度実績（速報値）について  
報告事項 2 川口市自殺対策推進計画（第2次）について
- 5 会議の概要  
(1) 開 会  
(2) 委嘱式  
(3) 会長挨拶  
(4) 議 題  
(5) その他  
(6) 閉 会

議 事

	<p>※保健部長より金子委員及び藤波委員に委嘱書を交付。</p>
事務局	<p>開会にあたり、会長より挨拶を賜りたい。</p>
会長	<p>本日の議題は「川口市保健所の令和6年度実績（速報値）について」と「川口市自殺対策推進計画（第2次）について」の報告である。皆様から意見をいただくことで、本市の保健衛生施策の発展の強い後押しとなることを期待する。</p>
事務局	<p>本日は傍聴希望者はなし。</p> <p>また、委員定数18人のところ15人が出席しており、審議会条例第7条第2項に基づき、本会議は成立する。</p>
事務局	<p>審議会条例第7条第1項の規定に基づき、会議の議長は会長が務めることとなるため、進行を長江会長にお願いする。</p>
議長	<p>議事録作成にあたり、議事録署名人を2人指名する。（異議なく、承認された。）</p>
議長	<p>報告事項1「川口市保健所の令和6年度実績（速報値）について」の説明を求める。</p>
事務局	<p>～資料「報告事項1（A）」に基づき説明を行った～</p>
議長	<p>意見等はあるか。</p>
委員	<p>新型コロナウイルス感染症に関する質問である。最近、中華圏で新型コロナウイルス感染症が流行しているようであるが、川口市でも定点把握の数値が4.14と増加傾向である。中華圏で流行しているものと市内で増加傾向にあるウイルス株は同じものなのか。また、高齢者が感染した場合に重症化のリスクは高いのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>新型コロナウイルス感染症は、毎年7～8月及び1～2月の年2回、患者が増える傾向にある。今年も前週より増加が続いているが、その増え方、山は昨年と比較すると低いものとなっている。現在、埼玉県で流行しているのは、中国などで流行しているものと同じ、オミクロンの変異株である。この株は、これまでの</p>

	<p>変異株以上に重症化リスクや死亡率が高いといった傾向はなく、ワクチンも有効とみられている。しかしながら、高齢者や基礎疾患のある方などは重症化しやすく、注意が必要なことに変わりはないので、ご本人や周囲の方は手洗いや咳エチケットなど日常生活の中でも基本的な感染対策を引き続きお願いしたい。</p>
議長	<p>報告事項2「川口市自殺対策推進計画（第2次）について」の説明を求める。</p>
事務局	<p>～資料「報告事項2」に基づき説明を行った～</p>
議長	<p>意見等はあるか。</p>
委員	<p>うつ病に関する質問である。私の経営する店のお客様で、以前うつ病と診断された方がいたが、その方の健康状態が大分よくなり、自分の状態を理解し、「私はうつ病だった」と言えるまでに回復した。このような方であっても、うつ病を再発することはあるのか。また、一般的に、そういった方に対して具体的にどのような対応をしたらいいのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>うつ病は、良くなったり悪くなったりを繰り返す傾向があり、長期間の治療や周囲のサポートが重要となる。接し方として大切なのは、温かく見守り、安心感を与え、相手の考えや思いを理解しようとし、信頼関係を築くことである。具体的には、相手が話しているときには途中で遮らず、最後まで傾きながら傾聴することを心掛けて頂きたい。更に、話を聞いた後に「大変でしたね」や「話してくれて嬉しかったです」、「何か出来ることがあれば仰って下さい」のように、聞き手としての気持ちを伝えたり、言葉を交わさなくとも傍で寄り添っているだけでも、相手に安心感を与えることができる。このように、相手が「ここにいてもいいんだ」と感じられ、安心して過ごせる場所・環境を整えることが重要である。</p> <p>逆に、してはいけないこともある。例えば、相手を責めたり、叱咤激励、説教や説得をするような声掛けは、状態の悪化につながることもあるので、注意が必要である。もし、周囲に心配な方がいるようなら、見守りながら、温かくご対応いただきたい。</p>
委員	<p>C-1ページ No. 8「川口市新聞配達見守り協定」とあるが、郵便局や配達業者には見守りの要請はしているのか。</p>
事務局	<p>郵便局とは、地域見守り活動に関する協定を結んでいるところである。</p>

委員	B-2ページに自殺死亡率が報告されているが、令和6年度の警察が公表している自殺死亡者数と人口動態統計における自殺死亡者数について教えていただきたい。また、令和5年度に自殺死亡率が跳ね上がっている要因は何か把握していただければ教えていただきたい。
事務局	川口市の自殺死亡者は、総数103名うち男性54名、女性49名である。令和5年度の自殺死亡率の上昇については、要因は特定されていないものの、コロナ禍で一時的に下がっていたものが、反発したと理解している。健康問題など、様々な要因は挙げられているが、特定には至っていない。
委員	自殺死亡者数は、警察が公表した数値か、それとも人口動態統計の数値か。
事務局	市で把握している自殺死亡者数は、厚生労働省が報告しているものであり、これを基に比較等行っている。警察が公表しているものは持ち合わせていない。
委員	厚生労働省が報告しているのは、おそらく警察が公表している数値を基にしているが、いかがか。
事務局	住居地と発見地で違いがあることは把握している。
委員	住民票が川口市にある方が亡くなった数なのか、市外から市内に来て亡くなった方を含め、市内で亡くなった数なのか。人口動態統計の数値なら、住民票がある方の死亡者数だと思慮するが、両者の数値の差を教えていただきたい。
事務局	今回報告した数値は、市内居住者（川口市民）のうちの自殺死亡者数である。警察が公表している数値との差については、把握できていないので後日回答する。
委員	C-5ページ No. 66「健康フェスティバル事業」について、これまで毎年9月に開催していたが、昨年度をもって一旦休止となったと聞き及んでいる。会場が駅前と立地も良く、高齢者も多く参加していたので非常に残念なところである。一旦休止なのか中止なのか、別の形で開催する予定なのか、今後の見通しについて伺いたい。

事務局	<p>健康フェスティバルについて、今年度は一旦休止としている。来年度以降は、健康に関する新規イベントの開催を検討している。健康フェスティバルの名称を引き継ぐかは決まっておらず、詳しい内容も決まっていないが、健康啓発関連の新規イベントを模索しているところである。</p>
委員	<p>イベントの再開を期待している。川口市は、高齢者の検診受診率が低いこともあるので、気軽に健康相談ができるような場を提供して頂きたい。</p>
委員	<p>B-1 ページ 3. 数値目標 において、自殺死亡率の現状値は示されているが、年代や職業別での数値は把握しているのか。</p> <p>また、一般的に、自殺の要因の一つに貧困が挙げられる。内閣府の公表したデータによると、非正規雇用の女性は男性の倍以上と非常に多く、このうち、約43万人がコロナ禍の影響で雇用を失ったとされる。自殺に至る心理的背景には、経済的な要因が潜んでいるのではないかと思慮するが、これらに対する施策は取られているのか教えていただきたい。</p>
事務局	<p>自殺の原因や動機は、健康問題が一番多く、次いで経済・生活問題、家庭問題と続いている。年代別に見ると、男性は40～50代の働き盛りの年代で多く、令和5年度は前年度に比して倍増したものの、令和6年度には平年並みに落ち着いた。また、令和6年度は80代の高齢者の自殺者数が前年度に比して増加した。女性は、19歳以下や20代の若い世代と40代において、自殺者数が前年度に比して増加している。職業別に見ると、有職者における自殺者数が多く、全体の40%前後を占めており、次いで年金や雇用保険を受給している高齢者となっている。</p>
委員	<p>川口市自殺対策推進計画（第2次）で、新たに取り組んだものはどれか。</p> <p>また、精神面にアプローチするような事業は増え、充実しているように感じるが、身体活動や自然体験からアプローチするような事業はないのか。</p>
事務局	<p>新規事業については、後日一覧にまとめて回答させていただく。</p>
議長	<p>身体活動や自然体験からのアプローチについてはいかがか。</p>
委員	<p>健康フェスティバル事業が該当するのだろうか。心身の健康を保つためには、座学と実践の両立が大事であることから、事業として取り入れていただきたい。</p>

事務局	<p>健康フェスティバルでは、講演のほか、体験ブースや三師会の協力のもと健康相談ブースを設けているが、委員がイメージされているような大きく体を動かすものではない。健康づくり事業としては、C-11ページ NO. 137及び138のような取り組みは行っている。</p>
委員	<p>私は、市内で10年間、女性のためのピラティス教室を行っているが、継続的に参加している方は精力的で健やかな印象が強い。是非、身体を動かす事業を取り入れていただきたい。</p>
議長	<p>B-2ページにあるようなグラフにおいて、上がり下がりが顕著であると、目につきやすい。統計学的に、適切なデータを選定し、分析しなければ、対策が頓珍漢なものになる恐れもあることから、統計学の専門家に相談することも検討してはいかがか。</p>
議長	<p>次第4「その他」について、事務局から願います。</p>
事務局	<p>事務局より2点。</p> <p>1点目、令和7年2月3日の審議会において、健康生きがいつくり計画、食育推進計画（第3次）中、第4節「休養・こころの健康」の取り組み事業に「こころサポーター養成講座」の記載がなかった件について、「追加させていただく」と回答したが、事務局の確認誤りにより記載されていなかった。大変申し訳ございませんでした。なお、ホームページで公開している本計画においては、取り組み事業に「こころサポーター養成講座」を記載している。</p> <p>2点目、次回の審議会は、次第に記載のとおり、令和8年2月2日（月）に、鳩ヶ谷庁舎にて、13時30分から1時間程度の開催を予定している。</p>
事務局	<p>令和7年度第1回川口市地域保健審議会を閉会する。</p>